

弁護士費用（報酬）の基準

◆費用の種類

着手金…事件の受任時に受ける、初動及びその後の事件処理の対価。

報酬金…事件の結果に応じて受ける対価。

実費…事務処理に必要な印紙代、切手代、コピー代、交通費など。基本的にはご負担いただきます。

◆以下はあくまでも目安となる基準であり、事案の内容に応じて増減することがあります。

詳しくは相談の際にご説明します。

金額は全て税込み表示です。

1. 相談

30分あたり	5,500円
①個人のご相談で、②交通事故、相続、離婚、生活トラブル等については、【初回無料】で承ります。無料対象かどうかはお問い合わせの際にご確認下さい。	
弁護士費用特約などの保険が使用できる場合や、法テラスによる相談費用援助が利用可能な場合は、保険会社もしくは法テラスへ相談費用を請求いたします（詳しくは相談の際にご説明しますが、相談者が相談料を支払うことはありません。）。	
刑事事件被疑者・被告人としてのご相談や、法人のご相談、個人でも事業に関するご相談の場合等は、原則として相談料をいただいております。	

2. 文書作成

	手数料
内容証明郵便	33,000円～
離婚協議書	110,000円～
遺言	110,000円～※

※遺言執行もご依頼いただく場合は報酬等をご請求いたします。

3. 事件処理における基本的な基準

経済的利益の額	着手金	報酬金
300万円以下の部分	8.8%	17.6%
300万円を超え3,000万円以下の部分	5.5%	11%
3,000万円を超え3億円以下の部分	3.3%	6.6%
3億円を超える部分	2.2%	4.4%

4. 交通事故

(1) 弁護士費用特約が使用できる場合

着手金	保険約款が定める基準にしたがった金額
報酬金	

(2) 弁護士費用特約が使用できない場合

着手金	110,000円～※	
報酬金	示談案の提示がない場合	回収額の11%
	示談案の提示がある場合	増加額の22%

※後遺障害の認定に対する異議申立てを行う場合、訴訟を提起する場合等は着手金を加算します。

5. 離婚、男女問題、子をめぐり紛争

この種の事案は複数の手続を同時並行で行うことが多く、何をするかで費用は大きく変わります。詳しくはご相談時にご説明します。

(1) 交渉または調停

着手金	220,000円～
報酬金	220,000円～

(2) 訴訟

着手金	220,000円～
報酬金	220,000円～

(3) 慰謝料、財産分与などの財産給付を伴う場合

着手金	110,000円～
報酬金	回収額の11%等

6. 債務整理（個人）

(1) 自己破産

着手金	220,000円～
報酬金	原則としてなし※

※過払金を取り戻した場合には、取り戻した額の22%（裁判による場合27.5%）

(2) 任意整理

着手金	債権者1社につき33,000円
報酬金	原則としてなし※

※過払金を取り戻した場合には、取り戻した額の22%（裁判による場合27.5%）

7. 刑事事件

着手金	220,000円～
報酬金	220,000円～※

※事件の内容や処分結果（起訴の有無や判決の内容等）により異なります。

8. 顧問契約

顧問料	33,000円～（月額）※
-----	---------------

※事業規模、毎月の相談時間などにより異なります。